

平成 2 1 年 6 月 1 9 日

南海電気鉄道株式会社

南海電鉄各駅への「無水小便器」導入効果について

節水効果、二酸化炭素排出量削減効果ともに**当初想定値を上回りました**
企業の社会的責任を果たすため、今後も環境保全活動に積極的に取り組みます

南海電鉄(社長：亙 信二)では、環境に優しい駅、きれいな駅を目指して、洗浄の水を使用しない「男性用無水小便器」の導入を平成 1 9 年 3 月から順次開始しました。そしてこのたび、導入によって得られる節水効果および二酸化炭素排出量削減効果(ともに平成 2 0 年度における値)が判明しましたので、お知らせします。

当社では現在「環境保全のための取組み強化」を柱の 1 つとして掲げた経営計画「堅進 1 2 6 計画」を推進しています。環境負荷の小さな交通機関である「鉄道」を本業とする当社では、企業の社会的責任を果たすため、今後も積極的に環境保全への取組みを進めてまいります。

【 1 】平成 2 0 年度における導入効果について

(1) 環境保全効果

節水効果

3 3 , 2 5 6 トン

(当初想定値 : 2 2 , 0 0 0 トン)

当社鉄道事業の年間水使用量 (約 3 4 3 , 0 0 0 ト)
の約 1 0 % に相当します。

二酸化炭素排出量削減効果

約 1 9 . 3 トン (当初想定値 : 約 1 2 . 7 トン) 男性用無水小便器 (難波駅)

トイレで使用する水は、送水、浄化・生成して再利用といった一連の過程で、電気などのエネルギーを使用する必要があり、その際、二酸化炭素の発生が避けられません。そのため、トイレを無水化することで、二酸化炭素の排出量を削減できます。数値の算出根拠は「平成 1 6 年環境省環境家計簿に使用する排出係数」を使用。

(2) 設置駅および設置台数

1 9 駅・7 6 台 (当初予定数 1 8 駅・7 3 台)

内 訳

[南海線] 1 0 駅・4 1 台

[高野線] 9 駅・3 5 台



【2】平成21年度における導入効果（目標値）

（1）設置駅および設置台数

23駅・107台（平成20年度から4駅・31台増加）

内訳

[南海線] 13駅・70台

[高野線] 10駅・37台

（2）環境保全効果

節水効果

46,823トン

二酸化炭素排出量削減効果

約27.2トン

[参考]男性用無水小便器について

（1）商品名：ウォーターフリー

（2）特徴：水を使用しないことで、水の中のカルシウムイオンと尿が反応してできる尿石(悪臭のもと)ができにくく、カートリッジ上部の密閉液によって排水管から上がってくる悪臭を封じ込めることができ、臭いの発生を防ぎます。

（3）メーカー：ファルコン・ウォーターフリー・テクノロジーズ社
（日本代理店：株式会社省電舎）

以上